地球温暖化対策報告書（その１）

１　事業者の氏名等

事業者の氏名（法人にあっては名称及び代表者の氏名）	医療法人社団明芳会 理事長　中村哲也
事業者番号	A 0 7 1 5

２　報告する事業所等の全体の状況（平成29年度）

条例第８条の23第１項報告事業所数	14 事業所	原油換算エネルギー使用量の合計	4,706　kl
条例第８条の23第２項報告事業所数	0 事業所	原油換算エネルギー使用量の合計	0　kl

３　地球温暖化対策のレベル

重点対策のレベル	1

４　事業者としての取組

取組方針	既に各事業所に通達された基本的部分での省エネへの取り組みの徹底と実践に踏み込み、設備機器等の更新・追加設置に際し効率的な機器を選定し順次CO2削減対策を進めていく。新築・建替え・改修工事についても、CO2・エネルギーの削減を十分に考慮し計画する。また、グループの各施設が一体となって医療に影響のない範囲で節電に努める。

組織体制の整備の状況	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
	A101	地球温暖化対策の方針等の設定	A107	排出状況の整理・分析・提供
	A102	温暖化対策推進担当の配置	A108	組織横断的な推進体制の整備
	A103	具体的な取組目標と内容の設定	A109	都などの無料の相談機関の利用
	A111	全従業員に温暖化対策情報の提供	A113	推進担当者の知識向上・内部還元
			A114	温暖化対策優良事例の情報収集
			A116	所内会議・研修会等で報告

５　特記事項

本年も昨年と同様に節電対策として、照明の間引き及び使用していない場所での消灯、LED照明への更新作業を継続中。また、室内温度、外気温度等の測定を行い室内環境を損なわない程度で空調熱源の冷温水温度を調整し電気使用量を抑える努力をしています。CO2排出削減目標として平成29年度に対して30年度において1％の削減を目標としています。

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	板橋中央総合病院B～G		
事業所番号	A0715－0001		
事業所等の所在地	〒174－0051	区市町村名	東京都板橋区
	町名番地以下	小豆沢2-19-19	
事業所等の延床面積	20,431.11 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有		
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)		
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食)　□ 工場　□ 複合施設　■ その他		
日本標準産業分類における細分類番号	8311	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 1,468	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 2,853	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 41	t
	総　計(④=②+③)	④ 2,894	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 139.6	kg-CO_2/m^2

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	178,888.2	45.00	8,050.0	0.014	401.4
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	3,358,441.0	9.97	33,483.7	0.489	1,642.3
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	1,656,080.0	9.28	15,368.4	0.489	809.8
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 56,902.0		⑮ 2,853.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	60,836.0			0.251	15.3
	公共下水道		□	m^3	60,836.0			0.439	26.7
合　計									⑯ 42.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

（裏）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A207	排出状況の整理・分析・提供
				A210	外部専門家への相談依頼の実施
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C404	加熱時間表示等による無駄の抑制	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C403	中央熱源機器等の季節設定実施
				C417	不使用室の空調停止
				C420	客室・共用部外調機の温度設定
				C421	過度な換気風量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用	E125	高輝度誘導灯の導入
				E112	空調用高効率冷凍機の採用
				E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有　□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）	%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6　特記事項

昨年に引き続き、医療行為に影響のない範囲で照明の間引き・消灯の他　LED化を進めている。白熱電灯はほぼ取替が完了し　直管型の蛍光灯については、1日15時間以上点灯している系統を優先的に更新中。現在は全体の60%の交換を完了している。CO2の排出削減として、前年の1%削減を目標としている。

（日本工業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	板橋中央総合病院A
事業所番号	A 0 7 1 5 － 0 0 0 2
事業所等の所在地	〒 1 7 4 － 0 0 5 1　区市町村名 東京都板橋区 町名番地以下 小豆沢2-12-7
事業所等の延床面積	4,461.00 m² ／ 事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食)　□ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 3 1 1　／ 連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 162	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 316	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 5	t
	総　計(④=②+③)	④ 321	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 70.8	kg-CO_2/m²

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm³	3,491.6	45.00	157.1	0.014	7.8
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	427,078.0	9.97	4,258.0	0.489	208.8
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	203,437.0	9.28	1,887.9	0.489	99.5
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 6,303.0		⑮ 316.2
その他	水道及び工業用水道		□	m³	7,345.0			0.251	1.8
	公共下水道		□	m³	7,345.0			0.439	3.2
合　計									⑯ 5.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A207	排出状況の整理・分析・提供
				A210	外部専門家への相談依頼の実施
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C123	温湿度の適正管理
		C404	加熱時間表示等による無駄の抑制	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C403	中央熱源機器等の季節設定実施
				C417	不使用室の空調停止
				C420	客室・共用部外調機の温度設定
				C421	過度な換気風量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E105	照明用人感センサの採用
		E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有　□ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

旧式の壁掛けエアコン等を順次効率の良いものに更新し、建替えを視野に入れた対策を継続実施中。医療行為に支障のない範囲での照明の間引き・消灯で対応してきたが、数年前より順次LED化を出来るところから進めている。目標としては、前年に対して1%のCO2削減を目指している。

その２　　　　　　　　　　　　　　　　（表）

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	高島平中央総合病院
事業所番号	A０７１５－０００３
事業所等の所在地	〒１７５－００８２　区市町村名：東京都板橋区 町名番地以下：高島平1-69-8
事業所等の延床面積	11,646.37 m^2
事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食）　□ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	８３１１
連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 760	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 1,473	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 18	t
	総　計（④=②+③）	④ 1,491	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 126.4	kg-CO_2/m^2

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	124,098.2	45.00	5,584.4	0.014	278.5
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	1,720,709.0	9.97	17,155.5	0.489	841.4
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	723,995.0	9.28	6,718.7	0.489	354.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 29,458.6		⑮ 1,473.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	27,189.0			0.251	6.8
	公共下水道		□	m^3	27,186.0			0.439	11.9
合　計									⑯ 18.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

（裏）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A207	排出状況の整理・分析・提供
				A210	外部専門家への相談依頼の実施
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C404	加熱時間表示等による無駄の抑制	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C403	中央熱源機器等の季節設定実施
				C417	不使用室の空調停止
				C420	客室・共用部外調機の温度設定
				C421	過度な換気風量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E125	高輝度誘導灯の導入
		E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有　□ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

平成26年12月1日に移転完了。基本対策を徹底し、データの分析と共に新規の効き等の省エネ運転を検討する。節電対策として、医療行為に影響のない範囲での照明の間引き・消灯・LED化を行っている。CO2の排出量削減目標として29年度に対して30年度において1%の削減を目標としている。

（日本工業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	イムス記念病院												
事業所番号	A	0	7	1	5	－	0	0	0	4			
事業所等の所在地	〒	1	7	4	－	0	0	7	1	区市町村名	東京都板橋区		
	町名番地以下	常盤台4-25-5											
事業所等の延床面積	3,827.51	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満								
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有											
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部（テナント）	□ 建物の一部（その他）										
報告範囲の主たる用途	□ 事務所	□ 商業施設（物販）	□ 商業施設（飲食）										
	□ 工場	□ 複合施設	■ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	3	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当					
前年度の報告内容からの変更点													

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		①	296	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	②	575	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③	10	t
	総　計（④=②+③）	④	585	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤	150.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	15,317.6	45.00	689.3	0.014	34.4
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	778,323.0	9.97	7,759.9	0.489	380.6
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	328,063.0	9.28	3,044.4	0.489	160.4
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 11,493.6		⑮ 575.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	14,928.0			0.251	3.7
	公共下水道		□	m^3	14,928.0			0.439	6.6
合　計									⑯ 10.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A207	排出状況の整理・分析・提供
				A210	外部専門家への相談依頼の実施
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C123	温湿度の適正管理
		C404	加熱時間表示等による無駄の抑制	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C403	中央熱源機器等の季節設定実施
				C417	不使用室の空調停止
				C420	客室・共用部外調機の温度設定
				C421	過度な換気風量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入
				E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有　□ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率(前年度比)		%
	CO_2排出量(延床面積当たり)		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

基本対策を徹底しデータの分析後、機器等の更新を行う。節電対策として、医療行為に影響のない範囲で照明の間引き・消灯・LED化を実施。白熱電灯・蛍光灯型電球は、ほぼ取替完了。一昨年前より直管型蛍光灯についてもLED化に着手。CO2削減目標として29年度に対して30年度において、1%の削減を目標としている。＊運用対策C120の外灯の季節別、点灯時間管理継続中。

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	イムス板橋リハビリ病院
事業所番号	A0715－0005
事業所等の所在地	〒174－0051　区市町村名：東京都板橋区　町名番地以下：小豆沢3-11-1
事業所等の延床面積	6,332.52 m^2
事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食)　□ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8311
連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 309	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 599	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 14	t
	総　計(④=②+③)	④ 613	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 94.5	kg-CO_2/m^2

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	38,893.4	45.00	1,750.2	0.014	87.3
燃料及び熱	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
燃料及び熱	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
燃料及び熱	その他()		□		0.0				
燃料及び熱	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	729,470.0	9.97	7,272.8	0.489	356.7
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	318,635.0	9.28	2,956.9	0.489	155.8
電気	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 11,979.9		⑮ 599.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	20,853.0			0.251	5.2
その他	公共下水道		□	m^3	20,853.0			0.439	9.2
合　計									⑯ 14.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A207	排出状況の整理・分析・提供
				A210	外部専門家への相談依頼の実施
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C123	温湿度の適正管理
		C404	加熱時間表示等による無駄の抑制	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C403	中央熱源機器等の季節設定実施
				C417	不使用室の空調停止
				C420	客室・共用部外調機の温度設定
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E125	高輝度誘導灯の導入
		E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有　□ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

節電対策として、医療行為に影響のない範囲で照明の間引き・消灯の他、LED化に着手。外気導入を極力抑えた空調を実施中。ガラス面が多い為、カーテンを有効に使用している。CO2の削減目標として、29年度に対して30年度において1%の削減を目標としている。＊運用対策C421厨房の過度な換気量の適正化は、継続中

その２　　　　　　　　　　　　（表）

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	板橋ロイヤルケアセンター
事業所番号	A０７１５－０００６
事業所等の所在地	〒１７４－００６３　区市町村名：東京都板橋区　町名番地以下：前野町3-46-3
事業所等の延床面積	4,888.00 m^2
事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食)　□ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	８３１１
連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 267	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 518	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 13	t
	総　計(④=②+③)	④ 531	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 105.9	kg-CO_2/m^2

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm^3	106,567.9	45.00	4,795.6	0.014	239.1
	その他(LPG)	□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	□		0.0				
	その他()	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 昼間(8時～22時)	□	kWh	396,811.0	9.97	3,956.2	0.489	194.0
	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	174,079.0	9.28	1,615.5	0.489	85.1
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計						⑭ 10,367.2		⑮ 518.3
その他	水道及び工業用水道	□	m^3	19,381.0			0.251	4.9
	公共下水道	□	m^3	19,381.0			0.439	8.5
合　計								⑯ 13.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A207	排出状況の整理・分析・提供
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C123	温湿度の適正管理
		C404	加熱時間表示等による無駄の抑制	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C403	中央熱源機器等の季節設定実施
				C417	不使用室の空調停止
				C421	過度な換気風量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E125	高輝度誘導灯の導入
		E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有　□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）	%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6　特記事項

基本対策の徹底から取り組みを始め、現在は照明器具のLED化を推進中。冷温水発生器のﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ・中間期対応の検討中。CO2の削減目標として、29年度に対して30年度において1%の削減を目標としている。＊運用対策C210の外調機の温度設定管理継続中。

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	板橋セントラルクリニック
事業所番号	A 0 7 1 5 － 0 0 0 7
事業所等の所在地	〒 1 7 4 － 0 0 5 1　区市町村名 東京都板橋区 町名番地以下 小豆沢2-16-15
事業所等の延床面積	1,031.00 m²
事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食)　□ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 3 2 2
連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 38	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 75	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 75	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 72.7	kg-CO_2/m²

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	114,870.0	9.97	1,145.3	0.489	56.2
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	39,322.0	9.28	364.9	0.489	19.2
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 1,510.2		⑮ 75.4
その他	水道及び工業用水道		□	m³	722.0			0.251	0.2
	公共下水道		□	m³	722.0			0.439	0.3
合　計									⑯ 0.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

（裏）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A207	排出状況の整理・分析・提供
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
				A215	優良事例の組織内共有体制の構築
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C118	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E125	高輝度誘導灯の導入
				E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有　□ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

照明器具のLEDかについては、蛍光灯型電球は、ほぼ取替完了。設定温度27度を実施中。CO2の排出量削減目標として、29年度に対して30年度において1%の削減を目標としている。＊運用対策C123の温湿度の適正管理継続中。

（日本工業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	板橋中央看護専門学校								
事業所番号	A	0	7	1	5	―	0	0	0	8
事業所等の所在地	〒 174－0051		区市町村名	東京都板橋区					
	町名番地以下	小豆沢2-6-4							
事業所等の延床面積	3,018.55	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満					
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有								
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)								
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食)　□ 工場　□ 複合施設　■ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	7	1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点									

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 66	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 129	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 129	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 42.7	kg-CO_2/m^2

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	95.7	45.00	4.3	0.014	0.2
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	264,085.0	9.76	2,577.5	0.489	129.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,581.8		⑮ 129.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,297.0			0.251	0.3
	公共下水道		□	m^3	1,297.0			0.439	0.6
合　計									⑯ 0.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

（裏）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A207	排出状況の整理・分析・提供
				A210	外部専門家への相談依頼の実施
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		CB27	営業前後の客室不要空調の停止	C118	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E125	高輝度誘導灯の導入
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有　□ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

節電対策として、照明器具の間引き・消灯を実施中。授業の終了後は速やかな帰宅をお願いしている。CO2の排出量削減目標として、29年度に対して30年度において1％の削減を目指している。

（日本工業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	イムスリハビリテーションセンター東京葛飾										
事業所番号	A	0	7	1	5	－	0	0	0	9	
事業所等の所在地	〒	1	2	4	－	0	0	6	区市町村名	東京都葛飾区	
	町名番地以下	堀切3-26-5									
事業所等の延床面積	4,259.00	m²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満							
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有										
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食)　□ 工場　□ 複合施設　■ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	3	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当					
前年度の報告内容からの変更点											

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	201	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	392	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	5	t
	総　計(④=②+③)	④	397	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	92.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	6,653.5	45.00	299.4	0.014	14.9
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	519,163.0	9.97	5,176.1	0.489	253.9
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	252,622.0	9.28	2,344.3	0.489	123.5
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 7,819.8		⑮ 392.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	7,597.0			0.251	1.9
	公共下水道		□	m^3	7,597.0			0.439	3.3
合　計									⑯ 5.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

（裏）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A207	排出状況の整理・分析・提供
				A210	外部専門家への相談依頼の実施
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C404	加熱時間表示等による無駄の抑制	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C403	中央熱源機器等の季節設定実施
				C417	不使用室の空調停止
				C420	客室・共用部外調機の温度設定
				C421	過度な換気風量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E125	高輝度誘導灯の導入
		E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E133	節水器具の採用
				E136	デマンドコントローラの設置
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有　□ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

平成29年春に改修を行い、7月より急性期から回復期のリハビリに特化した病院としてオープンし名称も新葛飾病院からイムスリハビリテーションセンター東京葛飾病院に変更。改修の際、照明を全体の40%でLED化した。現在は、データの蓄積を行いCO2の削減目標として、29年度に対して30年度において1%の削減を目指している。

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	イムス葛飾ハートセンター
事業所番号	A０７１５－００１０
事業所等の所在地	〒１２４－０００６　区市町村名：東京都葛飾区　町名番地以下：堀切3-30-1
事業所等の延床面積	3,512.00 m^2
事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食)　□ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	８３１１
連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 302	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 589	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 7	t
	総　計(④=②+③)	④ 596	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 167.7	kg-CO_2/m^2

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	6,191.4	45.00	278.6	0.014	13.9
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	772,674.0	9.97	7,703.6	0.489	377.8
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	404,491.0	9.28	3,753.7	0.489	197.8
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 11,735.9		⑮ 589.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	11,325.0			0.251	2.8
	公共下水道		□	m^3	11,325.0			0.439	5.0
合　計									⑯ 7.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

（裏）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A207	排出状況の整理・分析・提供
				A210	外部専門家への相談依頼の実施
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C123	温湿度の適正管理
		C404	加熱時間表示等による無駄の抑制	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C417	不使用室の空調停止
				C420	客室・共用部外調機の温度設定
				C421	過度な換気風量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E125	高輝度誘導灯の導入
				E133	節水器具の採用
				E136	デマンドコントローラの設置
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有　□ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

基本対策の徹底から始め、データーの分析後、機器等の対策に移行する。節電対応として、医療行為に影響の無い範囲で照明の間引き消灯を重点に対応中。白熱電球・ボール型蛍光灯のLED化に着手。 CO2排出量の削減目標として、29年度に対して30年度において 1%の削減を目指している。 ※運用対策C403の中央熱源機器等の季節設定は、継続実施中です。

（日本工業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	葛飾ロイヤルケアセンター
事業所番号	A 0 7 1 5 － 0 0 1 1
事業所等の所在地	〒 1 2 4 － 0 0 0 6　区市町村名 東京都葛飾区 町名番地以下 堀切2-66-17
事業所等の延床面積	5,707.00 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食)　□ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 3 1 1　連鎖化事業区分 □ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 220	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 427	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 11	t
	総　計(④=②+③)	④ 438	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 74.8	kg-CO_2/m^2

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	44,366.6	45.00	1,996.5	0.014	99.6
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	468,287.0	9.97	4,668.8	0.489	229.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	202,871.0	9.28	1,882.6	0.489	99.2
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 8,548.0		⑮ 427.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	16,248.0			0.251	4.1
	公共下水道		□	m^3	16,248.0			0.439	7.1
合　計									⑯ 11.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A207	排出状況の整理・分析・提供
				A210	外部専門家への相談依頼の実施
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C404	加熱時間表示等による無駄の抑制	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C403	中央熱源機器等の季節設定実施
				C417	不使用室の空調停止
				C420	客室・共用部外調機の温度設定
				C421	過度な換気風量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E125	高輝度誘導灯の導入
				E112	空調用高効率冷凍機の採用
				E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有　□ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

節電対応として、医療行為に影響の無い範囲で照明も間引き・消灯を重点に対応中。照明のLED化については、白熱電灯・蛍光灯型電球は、ほぼ取替完了。また、直管型蛍光灯のLED化も推進中の他デマンド監視装置を設置した。 CO2削減目標として、29年度に対して30年度において 1%の削減を目指している。 ※設備導入対策E109の冷温水間の保温は、完了しました。

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	お花茶屋ロイヤルケアセンター												
事業所番号	A	0	7	1	5	―	0	0	1	2			
事業所等の所在地	〒	1	2	4	―	0	0	1	1	区市町村名	東京都葛飾区		
	町名番地以下	四つ木5-19-7											
事業所等の延床面積	5,713.00	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満								
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有											
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	□ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)										
	□ 工場	□ 複合施設	■ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	3	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当					
前年度の報告内容からの変更点													

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 237	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 460	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 14	t
	総　計(④=②+③)	④ 474	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 80.5	kg-CO_2/m^2

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	47,508.2	45.00	2,137.9	0.014	106.6
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	496,047.0	9.97	4,945.6	0.489	242.6
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	228,625.0	9.28	2,121.6	0.489	111.8
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 9,205.1		⑮ 461.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	20,312.0			0.251	5.1
	公共下水道		□	m^3	20,312.0			0.439	8.9
合　計									⑯ 14.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A207	排出状況の整理・分析・提供
				A210	外部専門家への相談依頼の実施
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C109	空室・不在時等の空調停止	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
		C404	加熱時間表示等による無駄の抑制	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C403	中央熱源機器等の季節設定実施
				C417	不使用室の空調停止
				C420	客室・共用部外調機の温度設定
				C421	過度な換気風量の適正化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E125	高輝度誘導灯の導入
		E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E111	ポンプ・ファンのインバータ制御
				E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有　□ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

節電対応として、医療行為に影響の無い範囲で照明の間引き・消灯を重点に対応中。LED照明への移行も継続中、デマンドコントローラーの活用で節電。 CO2排出量の削減目標として、29年度に対して30年度において 1%の削減を目指している。　※C105の昼休みの消灯、C123の温湿度の適正管理は、継続しております。

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	新葛飾ロイヤルクリニック
事業所番号	A 0 7 1 5 － 0 0 1 3
事業所等の所在地	〒 1 2 4 － 0 0 0 6　区市町村名：東京都葛飾区 町名番地以下：堀切2-66-17
事業所等の延床面積	1,978.00 m^2
事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 3 2 2
連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 127	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 246	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 5	t
	総　計（④=②+③）	④ 251	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 124.3	kg-CO_2/m^2

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	4,185.6	45.00	188.4	0.014	9.4
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	353,941.0	9.97	3,528.8	0.489	173.1
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	130,522.0	9.28	1,211.2	0.489	63.8
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 4,928.4		⑮ 246.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	7,581.0			0.251	1.9
	公共下水道		□	m^3	7,581.0			0.439	3.3
合　計									⑯ 5.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

（裏）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A207	排出状況の整理・分析・提供
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
				A215	優良事例の組織内共有体制の構築
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C123	温湿度の適正管理
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C118	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C129	季節に応じた温度設定の見直し
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E125	高輝度誘導灯の導入
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有　□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）	%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6　特記事項

節電対策として、医療行為に影響の無い範囲で照明の間引き・消灯を重点に対応中。照明のLED化については、白熱電灯・蛍光灯型電球は、ほぼ取替完了。 直管蛍光灯についてもLEDへの更新の計画中。CO2排出量の削減目標として、29年度に対して30年度において 1%の削減を目指している。
※運用対策 C117の昼休み消灯は継続実施中です。

（日本工業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	クローバーのさと
事業所番号	A 0 7 1 5 − 0 0 1 4
事業所等の所在地	〒 1 7 3 − 0 0 2 2　区市町村名 東京都板橋区 町名番地以下 仲町1-4
事業所等の延床面積	6,017.18 m^2
事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　■ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食）　□ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 3 1 1
連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 253	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 497	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 26	t
	総　計（④=②+③）	④ 523	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 82.5	kg-CO_2/m^2

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	59,368.1	45.00	2,671.6	0.014	133.2
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	377,935.0	9.97	3,768.0	0.489	184.8
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	366,593.0	9.28	3,402.0	0.489	179.3
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合計							⑭ 9,841.6		⑮ 497.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	34,238.0			0.251	8.6
	公共下水道		□	m^3	40,776.0			0.439	17.9
合計									⑯ 26.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。
※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A207	排出状況の整理・分析・提供
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
				A215	優良事例の組織内共有体制の構築
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C123	温湿度の適正管理
		C404	加熱時間表示等による無駄の抑制	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C129	季節に応じた温度設定の見直し
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E125	高輝度誘導灯の導入
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有　□ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

平成26年10月から開設。建物用途は老人保健施設で延床面積20,121.7㎡(29.9%)のうち6,017.18㎡を医療法人明芳会、14,104.52㎡（70.1%）を社会福祉法人明東会が運営をしている。節電対策として、医療行為に影響のない範囲にて、消灯を実施。平成29年に対し平成30年度において1%のｴﾈﾙｷﾞｰ削減を目指している。

（日本工業規格A列4番）